



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

サウジアラビア：第12回 GCC 首脳諮問会合の開催

(5月12日付リヤード紙)

1. 5月11日夜、リヤードのディルイーヤ宮殿で第12回 GCC 首脳諮問会合が開催され、アブドゥラー・サウジ国王、ファハド・オマーン副首相、ムハンマド・UAE 副大統領、ハマド・バハレーン国王、ハマド・カタール首長、サバーハ・クウェイト首長（議長）が参加した。
2. 同会合後、アティーヤ GCC 事務局長が次の通り（概要）プレスに発表した。
 - (1) 今回の会合では、特に治安問題が協議の対象となり、首脳らは GCC 諸国間で更なる治安協力の強化（先の GCC 内相会合で、クウェイトから提案された GCC 治安協定の改定問題を含む）の必要性を強調した。
 - (2) 湾岸地域の治安は「レッド・ライン」であり、GCC 諸国の治安は GCC 全体の治安である。GCC 軍については、GCC 諸国間の軍当局間で情報共有などの協調が行われている他、過去の会合で議論のあった「緊急部隊」については、同特別委員会の作業がほぼ終了している。
3. 最終声明（概要）
 - (1) 首脳らは、サバーハ・クウェイト首長（議長）の欧州諸国訪問を通じて、欧州諸国と GCC との関係強化に向けた努力を評価した。
 - (2) アブドゥラー・サウジ国王によるバハレーン訪問（2010年4月18～19日）を歓迎した。首脳らは、サウジ国王によるアラブ湾岸大学付属の医療都市の建設（総経費10億サウジ・リヤル）の決定を高く評価した。
 - (3) 首脳らは、サウジ国王による「キング・アブドゥラー原子力・再生可能エネルギー都市」の設立決定を資源エネルギーの長期的活用に資するものとして歓迎した。
 - (4) 首脳らは、スーダン政府と「正義と平等運動」との枠組み合意（2010年2月23日、於ドーハ）を歓迎し、特に同合意を仲介したカタール首長の貢献を評価した。また、カタール首長によるダルフルール問題に関するアラブ・アフリカ委員会を通じた努力（ダルフルール開発基金設立（約20億ドル）を含む）を評価した。
 - (5) 首脳らは、カタール首長による3者サミット（5月9日 於イスタンブール）の参加を通じて、シリア大統領及びトルコ首相と中東和平問題について協議を行ったことを評価した。
 - (6) 首脳らは、オマーン国王による GCC・EFTA の自由貿易協定の承認（2009年6月22日）

及びこの実現への努力を評価した。

- (7) 首脳らは、GCC 事務局長から昨年 12 月の GCC サミット以降の GCC 諸国間の協力の現状（関税同盟、共同市場、通貨統合、鉄道網整備を含む）について報告を受け、更なる協力関係の強化（教育、医療分野での投資を含む）及び相互補完関係の促進を指示した。
- (8) 首脳らは、UAE 三島問題については、再度 GCC の立場を再確認し、イランに対しては直接または国際司法裁判所による平和的な解決への呼び掛けに応えるよう要請した。
- (9) イランの核危機に関し、首脳らは、国際法の遵守及び紛争の平和的解決という GCC の原則を再確認する。また、これは中東地域から大量破壊兵器を廃絶することの重要性を強調するものであり、これに関して国際社会がイランの核問題を平和的に解決するべく常に努力していることを歓迎する。
- (10) イラク問題に関し、首脳らは、イラクの統一・主権・独立の尊重、アラブ・イスラムの性質の保持及びイラク国内問題に対する不干渉の重要性を強調した。また、2010 年 3 月に実施されたイラク国民議会選挙の結果が、党派主義・人種主義・内政干渉から遠く離れたイラク国民政府形成に寄与することを期待する。これは、政治プロセスの成功、国民的利益の実現、及びイラクにとっての明るい未来に奉仕するものである。
- (11) パレスチナ問題に関し、首脳らは、ガザ地区のパレスチナ人に対する不公正なイスラエルによる占領の押しつけの継続、及び、西岸地区の何万人ものパレスチナ人を移住させるというイスラエル政府の決定に対して、重大な懸念を表明する。また、交渉再開に向けて行われているパレスチナ側の努力がイスラエルとの間接交渉に寄与することへの期待を表明する。
- (12) シリアとレバノンに関し、首脳らは、シリア・レバノンに対するイスラエルの挑発行為を非難する。また、この地域の平和と安定を揺るがすイスラエルの継続的な挑発と試みを完全に拒絶する。
- (13) スーダン問題に関し、首脳らは、ダルフル問題解決に尽力するスーダン政府との結束及びスーダン統一への支持を表明する。
- (14) 反テロリズム分野に関し、首脳らは、暴力・過激主義・テロリズムを拒否することを強調し、反テロリズムに向けた国内外の全ての取組への支持を表明する。
- (15) 海賊対策に関し、首脳らは、アデン湾・紅海等における海賊活動の継続に対して懸念を表明する。